

なめらか日本語会話

流畅日语会话

富阪容子 / 著



大连理工大学出版社

H369.9

84

富阪容子／著 宋锦绣／译 肖爽／审校

なめらか日本語会話

流畅日语会话

北方工业大学图书馆



00570978



大连理工大学出版社

本书日文版由日本 ALC PRESS 以书名《なめらか日本語会
話》出版,中文简体版由 ALC PRESS 授权大连理工大学出版社以
书名《流畅日语会话》在中华人民共和国内出版发行。

[辽宁省版权合同登记 06-1999 年第 266 号]

版权所有,翻印必究

图书在版编目(CIP)数据

流畅日语会话 / (日)富阪容子著,宋锦绣译. —大连:大连
理工大学出版社,2004.1(2004.9 重印)

ISBN 7-5611-1706-X

I. 流… II. ①富… ②宋… III. 日语—口语 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(1999)第 48817 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市凌水河 邮政编码:116024

电话:0411-84708842 传真:0411-84701466 邮购:0411-84707961

E-mail: dulp@dulp.cn URL: <http://www.dulp.cn>

大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:140mm×203mm 印张:8 字数:198 千字

2004 年 1 月第 1 版 2004 年 9 月第 2 次印刷

责任编辑:高 颖 责任校对:萧 音 咎俊霞

封面设计:王福刚

定 价:12.80 元

前 書 き

話し言葉を学びたいという要望がいつも学習者から出される。日本人同士が実際に話している会話が聞き取れるようになりたい、自然な日本語が話せるようになりたいという高いニーズがある。日本語の教室は十分にその要望にこたえることができているだろうか。筆者の所属する大学では、1年のコース終了時に日本語の授業に対する学生の評価を求めることになっている。その中の1項目に「日常生活に役立つ実際的な練習を提供したかどうか」というものがあるが、それに対する学生の評価は概して厳しい。例えば「会話に必要なルールを教室で十分に習えなかった。毎日の生活の中で四苦八苦しながら身につけていくしかなかった」という感想をもらす学生もいる。それでもこの学生の場合は、日本でのホームステイ体験や、企業でのアルバイト、日本人学生との交流などを通して、会話のルールを身につけることができたようだ。しかし、そのような条件に恵まれない学習者の場合はどうなるだろうか。

日本語の入門者が「です、ます」体から学び始めるのにはそれなりの理由がある。くだけた会話の学習には多くの複雑な要因が絡んでくるからである。下手に使うと、誤解を招いてコミュニケーションに失敗するだろう。また、男女による使い分け、方言との関連性を抜きにすることはできない。このような難しい要因があるためについ後回しにされがちであるが、初級が終わるころの学習者には、話し言葉全体のルールを学びたいという

欲求が強くなってくるようである。一般に、初級の終わり頃には敬語が導入されることが多い。それが重要な学習項目であることは否定しないが、それならば同時にくださった会話のルールも導入されるべきではないだろうか。使う使わないは別としても、少なくとも聞いて理解できる段階に達してほしい。

このような考え方にに基づき、本書では普段耳にする何気ない会話の一こま一こまをスケッチして描いていくことをめざした。そして、それらを理解するために必要とされる最低限のルールを分かりやすく提示した。また、練習問題の最後には聞き取り練習を加え、付属テープによって音声面を補うことにした。本書で使用されている語彙はなるべく平易なものに限定している。その代わりに、日常会話によく使われる決まり文句を多く含ませるように配慮した。

本書は、初級文型の習得を終えた学習者(学習時間 300 時間程度)及びそれ以上の段階の学習者を主な対象とする。その段階の学習者は、例えば「あなたはこんな所で、何をしているのですか」という問いには対応できるのに、自然なスピードで「何してんの? こんなとこで」と聞かれたら対応しきれないのではないだろうか。本書はこのギャップを埋めることを目標としており、このような自然な発話を聞き取れるようになることが第一段階である。しかし、たとえ聞き取れたとしても、もし「私はコンタクトレンズを落としてしまいましたので、今それを捜しています」と、友人に向かって答えたとなると、相手を怒らせることはないとしても、何か居心地の悪さを感じさせるのではないだろうか。そこで、対人関係に合わせて、適切な対話ができるようになることを究極的な目標としたい。

本書はすべての会話教育のためのシラバスを含んでいるわけではない。また、方言を抜きにして生きた会話というものがあ

前書き

り得ないことも事実である。そこで、それぞれの地域の方言をうまく取り入れ、より生の会話に近いものにしていくことは、本書をご利用くださる先生方のご裁量におまかせしたいと考えている。

主教材を学習するかたわら、口語表現を学習するための副教材として本書を使用していただければ、めざましい効果をあげることができると思う。本書によって、学習者が日本人の友人や隣人となめらかなコミュニケーションを図れるようになり、更には意思伝達だけにとどまらず、言葉を自由に駆使して会話を楽しめるようになることを心から希望している。

既に述べたように、このようなテキストの必要性は留学生に対する日本語教育の現場で実感されてきたものである。実は、勤務校の甲南大学は1995年1月の大震災によって大きな打撃を被り、留学生は突然の帰国を余儀なくされた。再び留学生が神戸に戻ってくる日が来ることを祈願しつつ、仮設校舎の立ち並ぶ学内で構想を練って生まれたのが本書である。その際に、この試みに共に取り組んだ甲南大学国際交流センター日本語講師山谷陽子、西田安江の両氏に、ここで深く感謝の意を表したい。

また、アルク日本語出版編集部編集長の塩崎宏氏ならびに麦島まゆみ氏のご厚情に対して謝意を表したいと思う。塩崎氏は震災直後の神戸まで足を運んでくださったばかりでなく、終始あたたかく見守り励ましてくださり、また、麦島氏は本書の隅々にまできめ細かい配慮を加えてくださった。そのおかげで本書が出版の運びとなったことに心からの感謝を申し上げたい。

富阪容子

構成と使い方

★全体の構成

- ・ 第一部分 話し言葉に特徴的な音の変化を学習する。
 - ・ 第二部分 話し言葉の形態上の特徴のいくつかを学習する。
 - ・ 第三部分 会話の機能と表現方法を、形と意味とを結び付けて学習する。
-

★各課の構成

- ・ 学習項目の提示
 - ・ 項目を含んだ対話の用例
 - ・ 練習問題
 - ・ 聞き取り練習問題(別売テープにのみ質問が付いている)
-

★対話に登場する人物について

くだけた会話では、性や年齢によって違った言葉を用いることが多い。用例や練習問題の中では登場人物の性と年齢を次のように区別している。

A/B 男性、女性の区別なし

男A/B 一般の男性

男 C/D 中年以上の男性

女 A/B 一般の女性

女 C/D 中年以上の女性

ただし、社会的役割が明確な場合には、それを書き記している。

★使用語彙について

初級終了程度の学習者に合わせた平易な語彙を選択したが、話し言葉に特有の表現、語句に関しては太字で示し、会話表現の索引に参照してほしい。

★各課の標準学習時間

標準としては2時間とするが、学習者のレベルによって異なる。

★難易度

第1課～第23課まで難易度別に配列されているわけではないので、第1課から順に学習する必要はない。学習者本人にとって必要性の高いものから始めるとよいだろう。

★語し言葉を学ぶための副教材としての使用例

◆用例 対話の用例を黙読、または音読。教室で使用する場合

構成と使い方

は、教師による音声モデルをよく聞く。学習者は音声面に注意しながら発話してみる。

◆**学習項目** その課の重点項目に焦点を当てて学習する。必要なら変形練習、代入練習などを加える。

◆**練習問題** 練習問題を考えてみる。教室で一部を使用して、残りを宿題として課することも考えられる。

◆**㊦ 音声テープ** (日本語能力試験聴解問題対策としても利用できる)

- ・テープを聞いてその質問に答える。
教室で使用する場合は、教師がさらに多くの質問を与える。
- ・内容について話し合う。
- ・テープに吹き込まれた対話を目で確認してみる。
- ・テープに吹き込まれた対話のロールプレイをする。
初めは与えられた対話に忠実に、次に一部を自由に変化させて、さらには、与えられた状況の中で自由に対話を行う。

◆**その他**

- ・学習項目以外で問題点が生じたら、適宜練習をする。
- ・くだけた会話によく用いられる日常会話表現がうまく使えるように、場面に応じた練習を適宜加える。
- ・マンガと共に使用することも有効である。

がくしゅうしゃ 学 習 者 の み な さ ん へ

日本語を勉強しているみなさんは、会話の上達に深い関心を持っていることと思います。どうすれば日本語の会話がなめらかにできるようになるでしょうか。日本語の文法の基礎はもうかなり勉強したし、文字を読むことには自信があるのに、話すとなると自分の持っている力を十分に発揮できないし、聞き取りにも不安を感じるのはどうしてでしょうか。このテキストは、そのような人の助けとなるように作られました。

聞き取りができないのは、話し言葉に特有の音の変化に慣れていないからではないでしょうか。第一部分では音の変化に注目するように練習問題が作られています。必ずしもその言葉を使う必要はないでしょう。けれども、方言による違いがあるといっても、大勢の日本人が使っている言葉なので、聞き取れるように練習しておくことは大切だと思います。

日本語を勉強している人はときどき「教科書で習った日

学習者のみなさんへ

本語と、実際に日本人が話している日本語が違っている」という印象を持つようです。たとえば、日本語の教室では助詞についてきびしく指摘するけれども、日本人はよく助詞を使わずに話していると考える人がいるようです。けれども、省略することができる助詞もあれば、できない助詞もあります。話し言葉は書き言葉と比べて自由な側面もあるけれども、話し言葉にも守るべきルールというものがあります。そのようなルールのいくつかを第二部分で分かりやすく紹介しています。

学生はよく「先生、質問があります」と言います。もちろんこれは文法的に正しい日本語で、教室で学生が先生に対して使うにはふさわしい言葉だといえます。しかし、友人と楽しく雑談しているときに、突然「質問があります」と言ったら、相手はびっくりしてしまうのではないのでしょうか。もっとその場にふさわしい表現があるはずです。たとえば「あの一、ちょっと聞きたいことがあるんだけど…」のように言った方が自然でしょう。このような、場面に応じた表現のしかたを第三部分で紹介しています。

また、話し言葉に特有の語句、表現は、文の中で太字で示

し、会話表現の索引に参考してください。

最後に、本書は会話のためのテキストです。音声なしの会話というものは考えられません。できれば別売りのテープを聞きながら学習していただくことをおすすめします。また、日本人の先生や友人から音声面の指導が受けられれば、より大きな効果をあげることができるでしょう。どうぞ、楽しみながら勉強してください。

とみさかようこ
富坂容子

致读者

我想,大家在学习日语的时候,对会话的进步一定非常关心。如何才能轻松愉快地进行日语对话呢?日语语法的基础已经学习过了,对阅读文字也有自信,可是一到说话的时候,却总觉得自己水平不能够充分发挥出来,对听力总感到不安,这是为什么呢?本教材就是为这样一些人所编写的。

听不懂是因为不习惯口语中特有的音的变化。在第一部分中针对音的变化制作了练习问题。练习中出现的词语未必要用,但是,虽说因方言的不同词语也有变化,但仍是大部分日本人常用的词语,所以为了能听懂,还是应该着重练习。

学日语的人时常会有这样一种印象:在书本上学到的日语和日本人实际所说的日语不一样。例如,在日语课堂上严格强调的助词,有的日本人在会话时并不经常用到。但是,既有可以省略的助词,也有不能省略的助词。口语与书面语相比,有其自由的一面,但仍有其必须遵从的规则,在第二部分中,我们将浅显地介绍有关口语规则的几个方面。

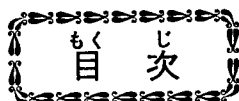
学生经常会说「先生、質問があります」。从语法上讲这句话是正确的,在课堂上,学生对老师这样说却是不太合适的。在和朋友闲聊时,如果突然来上一句「質問があります」,一定会让对方吃惊的吧。应该在不同的场合有其对应的表达方式。比如,像「あ

の一、ちょっと聞きたいことがあるんだけど…」这种说法就很自然。在第三部分中,将介绍对应不同场合的各种表达方式。

另外,口语中特有的语句、表现,在句中用粗字表示,请参考会话表达索引内容。

最后,本书是会话教材。没有声音的会话是不可想像的。所以希望读者能利用本书另配备的磁带进行学习。如果能从日本老师或朋友那里在发音上得到指导,将会获得很大的成效。请愉快地进行学习吧。

目 次



まえがき	3
構成と使い方	9
学習者のみなさんへ	12

第一部分 音の変化

第1課	てる/てく/とく	2
第2課	ちゃ/じゃ/きや	9
第3課	たって/だって	17
第4課	って/て	26
第5課	ん	37
第6課	変化した言葉	44

第二部分 会話の形式

第7課	助詞の省略	54
第8課	短縮句	62
第9課	決まり文句	73
第10課	くり返し	84

第 11 課	あいまい ^{ひょうげん} 表現	94
第 12 課	語順 ^{ごじゆん} の ^{へんか} 変化	105
第三部分	かいわ ^{もくてき} 會話の目的	
第 13 課	かいわ ^{すす} 會話を進める	116
第 14 課	はなし ^き 話を切り出す ^だ	123
第 15 課	こた ^{こた} 答える	131
第 16 課	はんのう ^み 反応を見ながら ^{はな} 話す	139
第 17 課	あいづち	145
第 18 課	たし ^{たし} 確かめる	155
第 19 課	しゅちやう ^{つた} 主張を伝える	163
第 20 課	れい ^い お礼を言う / あやまる	174
第 21 課	もんく ^い 文句を言う / ^{ことわ} 断る	182
第 22 課	もう ^で 申し出を ^{ことわ} 断る	190
第 23 課	と ^と 問いかける	198
かいわ ^{ひょうげん} ^{さくいん} 會話表現の索引		208
かい ^{とう} 解答		225

第一部分

おと へん か 音の变化

第1課 てる/てく/とく

第2課 ちゃ/じゃ/きや

第3課 たって/だって

第4課 って/て

第5課 ん

第6課 へんか ことば
变化した言葉